

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 9 月 12 日 (14:30~15:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	布村・中田・嶋田・林田・太田・田島・駒谷・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		11	7	1	21

前回の改善計画	利用前の実態調査(身体状況、認知症状の程度)※利用前に情報を把握し、介護現場への伝達を行う。病院、居宅、老人保健施設との情報を得て、地域との連携に努める。小規模多機能として、緊急性のある突発的な対応(情報不十分)での受け入れ体制研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報を全職員でタイムリーに共有することが困難であった。 利用者の急変時や突発的な利用など、受け入れ体制が十分でなかった時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	8	1	21
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	15	3		21
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	12	3		21
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	13	6		21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始前や体験で来られた方には、積極的に声かけをして気配りができていた。職員側も情報が不十分な時などは、情報収集も含めて関わりを持つ意識があった。 新規で来られる方には、どのような状況かを朝礼や職員会議、資料を見ながら共有できていたが、全職員が同じような時期でなく、関わりの中からはある程度の時間を要した。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用開始前や体験で来られた方に、必要としている支援や最低限の支援はできていると思うが、その方が不安や不穏状態になった時の対応があまりできていないように思う。(臨機応変な対応が不十分) アセスメントの細かい部分が聞けていない。資料だけの情報の時があり、全員が共有できていない。 不穏状態の時に、接する方法が分からず声をかける言葉がみつからなかった。また、利用者が話しやすい雰囲気づくりや、事前情報との誤差から戸惑いなどがあった。伝達が一方通行の時もあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用前の事前ミーティングでの情報共有を実施していくこと。また、退院前のカンファレンス参加や、利用前の情報収集及び、全職員への情報伝達の徹底。また、利用者のケア方法の統一や、職員間の介助技術の習得。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 14 日 (14 : 00~14 : 40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 布村・山本・巖・岡・太田・嶋田・秦・栗山・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		14	5		21

前回の改善計画	個別介護計画書の内容を、全職員で情報共有する。 個別リハビリの充実を図り、利用者満足度向上と職員教育の徹底を図る。 (記録、表、書式作成、ニーズ見極め、職員教育)
前回の改善計画に対する取組み結果	情報共有が不十分であった。利用ニーズが家族目線であったり、受け入れ体制において職員側の人員体制が不十分な時期もあり、教育や研修ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	13		21
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		12	8		21
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	13	6		21
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	12	2	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様から、よく聞く言葉は「歩けるようになりたい」「身体がしんどい」など。少しでも歩いたり、負担とならないように、それぞれのリハビリ内容を考え、実施できていたように思う。 モニタリングの活用と、利用者との関わりからの情報収集。個別リハビリの実践。 短期目標は日々の関わりで理解し、それにあつた支援、関わり方を実施。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「家に帰りたい」との希望について、ずっと泊まり利用が続いている方に、月に 1 回だけでも帰宅を勧めると、家族は帰宅でなく施設入居を検討されたりと、希望にそえることができていない。 支援内容とニーズが異なっている。長期目標を理解できていなかった。希望はあるものの具体的な目標が定かでなく、リハビリの振り返りなどができなかった。 また、利用者への関わりに差があるように感じる。ご自身の思いを言えない人にも耳を傾けることなど。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者のほんとうに望んでいることに対するアプローチを実践する。そのためにも、本人や家族とのコミュニケーションを深めること。信頼関係の構築及び向上に努める。 個別リハビリの定着化。(リハビリの振り返り) 職員の連携及び関係づくりを強化して、一丸となる雰囲気づくりなど。 モチベーションを引き出す関わり。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 9 月 14 日 (14 : 00~14 : 40)
3. 日常生活の支援	メンバー	布村・山本・巖・岡・太田・嶋田・秦・栗山・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	15	1		21

前回の改善計画	朝礼や夕礼での伝達を徹底する。 連絡ノートの活用にて、職員全員の情報共有に努める。 職員会議での職員全員の活発な意見交換を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎日の朝礼は実施できていた。随時、連絡ノートや職員会議での情報共有に努めることができた。 ただ、全職員での意見交換は限られたメンバーや共有するには課題があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	14	1	21
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	11	1		21
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	9	1	21
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	10	2		21
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	16	1		21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
基礎的な介護はよくできていると思う。布パンツからリハパンに変更したことや、細かいところまで、よく声をかけあったりして、情報を共有できていると思う。また、体調不良時はミーティングで報告したり記録にもバイタル結果と共に残すことができています。本人とのコミュニケーションも日々深めることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用前の生活環境をあまり理解できておらず、10個も把握できていない。 職員間のコミュニケーションが十分でなく、職員会議での活発な意見交換ができていない。声にならない部分は声になっていないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用前の生活環境をあまり理解できていないため、情報収集の徹底。職員個人個人のスキルアップ。 しっかりと聞き取り、目では見えない声にならない利用者の本当の気持ちに気づくスキルを身につける。 職員間の話しやすい雰囲気づくり。 細かい部分までは伝わらないため、職員会議時間などの確保。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 14 日 (14 : 00～14 : 40)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 布村・山本・巖・岡・太田・嶋田・秦・栗山・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		8	9	1	21

前回の改善計画	利用者アンケートを実施して、利用ニーズを見極め利用者本意となるよう業務改善を行う。 地域行事の情報や関わりを深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用アンケート未実施。 地域行事への参加は一部利用者の参加のみ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	7		21
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		10	7	1	21
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	11	1	21
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	8	4	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 通い利用の方が、どこに住んでいるのか誰と住んでいるのか、どのように過ごしているのかは、本人や家族様から、少しずつ知ることができている。 家族様に対する対応は、信頼関係構築につながるよう丁寧な対応ができている。 慣れ親しんだ地域で生活できるよう、地域行事の参加や買物支援など援助できている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 各民生委員など、地域の資源について十分な把握ができておらず、地域との関係性が継続できていないと感じることもあった。利用者からの情報しかなく、これまでの生活暦の情報が不十分であった。 利用者アンケートの実施ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 民生委員など地域の資源について、きちんとした情報収集をすることで地域資源を把握する。 地域との密な関わりによる関係性の構築。 オアシスからの情報発信による地域との繋がり確保。 利用アンケートを実施する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 9 月 18 日 (14:00~14:45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	布村・中田・釜口・太田・岩田・林田・嶋田・田島・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	10	5		21

前回の改善計画	訪問サービスの拡充及び訪問サービスの体制づくりとして、職員のスキルアップや研修の実施。柔軟な利用形態および受け入れに向けて、利用者、家族との更なる信頼関係の構築に努める。毎日の関わりから、接遇・観察・記録・体調面など利用者の健康管理をサポートしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議の参加率向上による職員研修の定期開催。健康管理を目的とした記録記入。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		10	5	4	21
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	9	6	1	21
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	13	3		21
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	14	1		21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の急変及び、昨日と今日の様子など些細なことでも変化があれば記録記入することや、それらの申し送りを実施することができている。 利用者の変化などがあれば、申し送りや記録から職員間で共有して対応できている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 通いや訪問は随時、適切なサービスと感じるが、宿泊は同じ人が常時宿泊となり、ショートではなくロングステイ利用になっている。このことから、訪問サービスのニーズが無く入居施設のような利用状況の時期があった。 全職員間でのタイムリーなミーティングなどの話し合いが実施できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 訪問サービスの拡充により、各サービス利用を随時提供できるような職員配置に努める。 在宅事業所として、利用者の在宅復帰を全職員が取り組む支援体制の構築。 実りある会議やミーティングの開催。 対応できるサービスに職員差があるため職員研修及びスキルアップ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 18 日 (14:00~14:45)

6. 連携・協働

メンバー 布村・中田・釜口・太田・岩田・林田・嶋田・田島・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		12	3	2	21

前回の改善計画
地域行事の関わりや機会がないため、まずは情報収集に努める。
オアシスの事業紹介をすることで地域の認知度を高めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
1年を通じて地域行事の情報収集が実施できた。
病院・居宅・地域からの利用紹介など各方面から利用の問い合わせなどがあり、オアシスの認知度が高くなりつつあると感じることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	7	5	3	21
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	6	2	4	21
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	7	4	3	21
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	10	3	1	21

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
管理者やケアマネは他事業所との関係ができているが、介護職員はほとんど関係性が乏しい。訪問看護や往診医などとは、介護現場での接点がある。
近隣の保育園児との交流 (6 月 17 名来所)

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
定期的な地域のイベントに参加できていない。地域への認知度がまだ不十分である。
職員間の情報伝達に時間を有する。
その他のサービス機関との会議参加及び、医療ニーズへの対応に課題がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
適正な介護サービスを提供できる事業所づくりとして、職員研修の定期開催を実施する。
全職員への情報伝達の徹底により、質の高いサービスの提供や医療機関など外部機関との連携。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 18 日 (14:00~14:45)

7. 運営

メンバー 布村・中田・釜口・太田・岩田・林田・嶋田・田島・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	13	1	2	21

前回の改善計画	職員会議の定期開催及び参加率の向上。 地域行事の情報収集及び参加できる人員配置。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議の定期開催による参加率向上。 地域行事への参加については、一部の利用者と職員の参加。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	10	3	21
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	5	1	21
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	6		21
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	10	7	1	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員からの意見や気づき、家族からの苦情など職員会議等で取り上げ、今後どのようにしていくかを話し合っている。 以前に比べて、会議の参加者が増えてきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全ての職員が、ミーティングや職員会議等で積極的に発言したり、意見を言うことができていない。 地域行事への参加者 (利用者・職員) に偏りがある。 食事メニューのバリエーションなど、満足度を高める働きが不十分であった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員会議の更なる充実。また、全職員が様々な意見交換が積極的にできる雰囲気づくり。 常時、適正な人員配置の確保による質の高いサービス提供の継続。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 18 日 (14:00~14:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 布村・中田・釜口・太田・岩田・林田・嶋田・田島・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	12	4		21

前回の改善計画	全職員が意識して取り組めるような目標設定。 事業所の特徴を明確にしていくことで、一体感を向上させていく。 リスク管理の徹底。
前回の改善計画に対する取組み結果	平成 29 年度のキャッチフレーズはあるものの、朝礼での唱和や管理者主導となっているのが現状。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	9	5	3	21
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	7	3	21
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	7	6	21
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	6	3	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員会議の定期開催による職員研修の参加や、今年度のキャッチフレーズ目標設定による取り組みはできている。 毎朝の朝礼にて、福祉事業五訓の唱和。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 目標はたてることはできているが、業務優先となり、それぞれが行動に移すことができていない。 細やかな配慮や気づきなどが十分でなく、危機管理の意識が全体的に低い。 勤務配置にゆとりが無く、外部研修の参加などが出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 様々な場面でのリスク管理及びリスクマネジメント研修の開催など。職員 1 人 1 人の意識を高めて事業所全体でリスクマネジメントを定期的 to 実施していくこと。 全員で目標共有する機会や意見交換の場を確保していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 9 月 18 日 (14:00~14:45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 布村・中田・釜口・太田・岩田・林田・嶋田・田島・保井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	14	1		21

前回の改善計画	利用者、家族との更なる信頼関係構築。(アンケートの実施・オアシス便りの充実・通い連絡ノートの活用) 職員会議の定期開催による利用者カンファレンスにて、サービスの振り返りを実施。(サービスの質の向上)
前回の改善計画に対する取組み結果	利用アンケートの未実施。 サービスの振り返りができず信頼関係の構築がまだ十分ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	15	5			21
②	虐待は行われていない	16	4			21
③	プライバシーが守られている	7	12	1		21
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	7	3	2	21
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	11	2		21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者によっては離床センサーマットを使用している方もいることから、センサーマット使用の同意書による確認。職員間にて精神的な拘束となることを周知。 介護ベッドの 4 点柵の未使用。車椅子ベルトの未使用。 徘徊する利用者には、拘束せず歩きたいように歩行の機会や見守りを実施。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員の居室の出入りの声かけ徹底が不十分であったり、トイレの出入りの声かけなど羞恥心に対する配慮できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 統一したケアの提供及び羞恥心に対する配慮。 利用者アンケートの実施。 目標設定を全員で行うことや、出来ていないことも全員で共有すること。
---------------	---